

いつも身近な存在でありたいと思っています

会宝通信 ~Kaiho journal~

第273号

発行日 2024年9月1日発行

2024年 8月3日 第12回 会宝リサイくるまつり

皆さんこんにちは、社長の近藤です。8月3日に12回目となる当社的一大イベントである「会宝リサイくるまつり」を開催いたしました。当日は気温が34℃を超える真夏日にも関わらず、1,710名もの方にご来場いただきました。さらに多数の企業様にもご協賛をいただきまして、この場を借りて御礼を申し上げます。

このイベントは、一般の方に「リサイクル」について身近に感じていただきたいという目的を持って開催しています。そのために様々な工夫をしますが、数年前から実行委員が主体的に考え取り組んでくれています。

毎年人気の「解体ショー」は今年もやはり大人気で、お子様から大人の方までたくさんの方にご覧いただきました。今年は当社のロゴマークがラッピングされた新しい重機の登場で例年以上の迫力を見せてくれました。また解体ショーと共に毎年人気なのが「リサイクル教室」で、今年はシートベルトを使って折り畳みチェアを作るという内容でした。小学生のお子さんがいらっしゃる親御さんからは「夏休みの宿題も一緒にできてしまうので、助かっています」という声もいただきました。

さらに今年は、元旦に能登半島地震があったこともあり、ゲームをしながら防災について何ができるかを考えるワークショップを開催しました。そして、全国でも有名な輪島の朝市で販売されていた商品や農産物の加工品などをつくって販売されている能登島の「ねねの会」さんのお惣菜やおはぎを販売するブースも設置しましたが、どれも人気でお昼過ぎには全て完売となりました。

それ以外にも、いつも行列ができる縁日のブースや、フォークリフトに乗れる体験ブースでもたくさんの子供たちに楽しんでもらえました。

このイベントでは、全社員が一般のお客様と直接触れ合うことができる唯一の場になります。常にお客様の立場に立った目線を忘れずに、来年の「リサイくるまつり」も皆さまに喜んでいただけるイベントにしていきます。





キラリと光る存在に



●今月の出番●

国内業務部車輛営業課
川上 壱幸(かわかみ いっさ)さん

皆様、こんにちは！今年4月に入社しました、国内業務部の川上 壱幸と申します。入社からすでに4ヶ月が経ちました。学ぶことが多く充実した日々を送ることができています。

私は主に個人のお客様や業者様への廃車引き取り業務を担当しております。業務を行う中で事故車輛や不動車輛など、車輛によって積み込みの方法を考える必要があり、とても難しくまだまだ勉強中です。前職では自動車の板金工やガソリンスタンドでの接客を経験しました。地域の方々に寄り添い、専門用語を使わな

い接客を心掛けることで喜んでいただけたことは良い経験になりました。

会宝産業に転職し、年齢に関係なく責任のある仕事に挑戦させていただくことができ、高いモチベーションで業務に取り組むことができています。

休日は引き取り業務の中で見つけた良い景色の場所や、先輩方に教えていただいた美味しいご飯屋さんを愛車に乗って巡ることでリフレッシュしています。これからも安全第一を意識し、お客様に喜んでいただける対応ができるよう精進していきます。宜しくお願い致します！



農業の取り組み ～農業事業部より～



皆様こんにちは。8月は例年同様に暑かったですね。雨が降らないのでお困りの農家さんの話も聞いております。9月も中旬ごろまで暑い日が続きますので、皆様方も体調管理などお気を付けください。

8月の主な作業はトマト栽培ハウスの次作に向けたリセット、夏野菜の収穫・根菜の管理、夏トマト水耕栽培試験などです。ハウスのリセットは株・資材の撤去、土壌の熱処理用のビニールがけ、夏野菜はピーマン・ゴーヤ・オクラの収穫・管理、根菜はサツマイモ・サトイモの管理、水耕栽培試験は写真のようにハウス内で夏場に栽培・味の確立ができるのかを試験しています。8月中旬過ぎに初収穫、食味の試験をします。

9月下旬には、いよいよ次作のトマトの定植をします。それまでに熱処理の完了、定植準備を終え、早ければ年内の収穫開始を目指して栽培に取り組んでいきます。今年は病気対策の新たな取り組みとして、接ぎ木苗の使用、土壌への木灰散布による病気予防などを実施しています。これらの効果は、定植後～収穫間近に検証できると思います。また追って皆様方にも報告ができると思いますのでお楽しみにお待ちくださいませ。私たちも暑さに負けないように体調管理や暑さ対策をしっかりと実施して、元気に農業を続けていきます。(担当：畠中)

会宝農園の野菜はこちらのサイトからご購入いただけます。ぜひご覧ください。



社員海外レポート



こんにちは。Kaiho Middle Eastの畳谷です。ドバイ首長国が世界最大かつ最先端の自動車市場「ドバイ・カー・マーケット」の開発を発表しましたのでお知らせです！

このプロジェクトは、ドバイを自動車貿易の中心地として確立させることが目的で、2033年までにドバイ首長国の経済規模を倍増させ、世界トップ3の都市経済圏に成長させるという、ドバイ政府の経済成長に関するアジェンダに基づくものです。市場の建設予定地は、約186万平方メートルの広大な敷地で、完成すると、現在の市場規模の8倍に相当する巨大な施設になります。自動車の販売だけでなく、商業サービス、物流、金融などの関連事業も集積する予定で、自動車業界の主要なイベントや会議も開催される予定だそうです。ドバイに建設される世界最大級の自動車市場は、ドバイの経済成長を牽引し、世界中の自動車業界に大きな影響を与えることが期待されています。ドバイ・カー・マーケットが、ドバイの自動車貿易の中継地として、どのように既存の自動車マーケットへ影響を与えるのか、我々がどのように参入できるのか、ワクワクしますね！（現地の英語版の記事(Gulf news)はこちら↓）

<https://gulfnews.com/business/markets/new-deal-signed-to-develop-worlds-largest-20-million-square-foot-car-market-in-dubai-1.1720099411120>



今月のパチリ



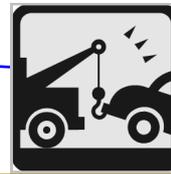
こんにちは。当社は大学や高校で講演や授業を行う機会があります。先月、鶴学園広島工業大学高等学校の夏の特別授業の一つとして、当社海外事業部の宮川が講演しました。生徒の皆さんは日頃、STEAM教育（Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学・ものづくり）、Art（芸術・リベラルアーツ）、Mathematics（数学）の5分野を統合的に学び、実社会での問題発見・解決に生かすための教育でのデジタルファブリケーション機器（デジタルデータをもとに創造物を制作する技術）を使ったものづくりを学んでいます。

今回は「開発途上国の誰かの生活課題」に着目し、解決方法を考案するというテーマです。宮川はインド駐在中のためオンラインで登壇し、インドでの業務や国外から見たものづくりの視点について話をしました。当社には「自動車のあとしまつを通して、日本・世界の環境に貢献する」というパーパス（存在意義）があります。宮川から投げかけた「あとしまつを考えた時に良い車とは何か？」という問いについて、生徒の皆さんが考えを深め、独自の視点でアイデアを出すという課題にも取り組みました。今回の講演が生徒の皆さんにとってより良い未来を創造する一助になれば幸いです。

（担当：川村）



相場情報 ~生産部より~



2024年 8月 見込み台数

入庫台数 670台

処理台数 600台

こんにちは、会宝産業の山口です。益明けから朝晩は少し涼しく感じるようになってきましたね。さて、相場はと言うと・・・8月に下がった鉄も電炉の補修が終わり9月は??と気になる所ですが製品の販売状況が振るわず更に下げに転じる見込みもあるようです。アルミ関連は海外より安い輸入品（原料）が入った事に加えてメーカーの在庫も豊富にあるようでこちらも相場としては上がる要素は少ないようです。銅も同じく低調ですが、こちらは投機的な動きをしており、価格も上下しています。ただ、国内の銅需要は依然として低い位置で安定している事や、中国の景気減退の影響も出てきているようですね。



今月のピックアップ

~ ホームページを刷新!! ~

6年ぶりに会社のホームページを刷新しました。ぜひ、こちらのリンクをご覧ください。

<https://kaihosangyo.jp/>

今の時代では、会社の名前を知った時に、そしてその会社に興味を持った時に、ほとんどの人がその会社のホームページを探すのではないのでしょうか？ そしてその時の印象が、会社のイメージとなることも多くあるかと思います。だからこそ、会社のホームページはとても重要だと思っています。

その上で、今回ホームページを刷新しようと思った理由は、大きく2つあります。

①デザイン

以前は自分たちが思い描く、カッコいいデザインを優先しましたが、今回は見ていただく方の立場に立って、親しみやすいデザインを意識しました。これによって、見ていただく方が自動車リサイクルについて馴染みやすくなったり、お問合せしやすくなったりすると嬉しいです。当社が輸出という強いチャネルを持っていることで、中古車を高く買い取れることもお伝えできればと思っています。

②利便性

会社の情報を発信することが増え、その業務も内製化でできてきた背景もあり、社内でアレンジできる要素を増やしたいと思い改善しました。

これからも、皆様に喜んでいただけるような情報を発信していきます。（担当：佐藤）



会宝産業
Homepage



車買取
Homepage



会宝産業
note公式
(毎週木曜日更新)



会宝産業
X (旧Twitter)



会宝産業
Facebook



車買取
Facebook



会宝産業
Instagram



会宝キッチン
Instagram



ご意見ご要望はこちらまで → TEL 076-237-5133 soumu@kaiho.co.jp (担当:宮村)